

# 平成29年度 専門課程 河川管理研修実施計画

平成29年7月20日  
建設部 建設第一科

## 1. 研修目的

河川管理施設の維持・管理に関する専門知識を修得させ、河川管理に関する諸問題に対して的確に対応できる専門知識及び技術を修得させることを目的とする。

以下の各点を重点項目とする。

- ① 河川管理行政の現状と課題等、河川行政全般に関する知識の修得
- ② 河川関係法令等河川管理全般に関わる法令に関する専門知識の修得
- ③ 河川管理施設の点検、河道の維持管理等河川管理に関する専門知識の修得
- ④ 河川占用、水利権、管理責任と訴訟等、実務能力向上のための専門知識の修得
- ⑤ 課題研究による問題解決能力の向上、広報に関する知識の修得
- ⑥ 河川利用の現状と河道管理の実情を見学する現場実習を実施

事務系、技術系職員が一緒になって、日常の河川管理業務の中で問題となっている事例をテーマに討議して問題解決能力の向上を図る。

## 2. 対象者

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、地方公共団体（都道府県、政令指定都市、特別区、中核市、一般市及び町村）又は独立行政法人等の事務系及び技術系の職員で、河川管理に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者

- ① 係長又はこれと同等の職にあると認められる者
- ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者

## 3. 研修期間

平成29年10月16日（月）～平成29年10月27日（金）（12日間）

## 4. 研修定員

		国土交通省	他省庁	地方公共団体	独立行政法人等	団体	合計
平成29年度	計画	24	1	18	2	—	45
平成28年度	計画	24	1	18	2	—	45
	実績	33	0	10	0	—	43
平成27年度	計画	24	1	18	2	—	45
	実績	35	0	9	1	—	45

## 5. カリキュラム

基本科目、専門科目、関連科目、課題研究、現場実習で構成する。

（別紙に教科目一覧表（案）、参考資料として時間割表（編成例）、平成28年度実施結果報告（抄）を添付）

課題研究（案）、現場実習（案）については次のとおり。

- ① 課題研究（案）  
河川管理に関わる課題（占用許可、河川利用、維持管理、自然環境、不法行為、水利権）について班別に討議し意見をまとめポスターセッション、全体討議の場で発表し、討議を行う。
- ② 現場実習（案）  
荒川における河川管理の現状や課題を学ぶ他、河川管理施設等の点検・評価実習を予定する。

## 6. その他

テキスト代として30,000円を予定。

平成29年度 専門課程 河川管理研修 教科目一覧表 (案)

(1/2)

区分	番号	教科目	講師の所属・氏名	時間	備考	
基本科目	1	講話	水管理・国土保全局 水政課 課長	1.0	・河川管理の歴史 ・河川管理における新たな取り組み ・水防法及び河川法の一部改正について	
	2	河川管理の現状と課題	水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 室長	1.5	・平常時の河川管理について ・河川管理の特質 ・これからの河川管理について	
	3	これからの河川管理のあり方	中央大学 研究開発機構 教授	3.0	・新たな社会資本整備重点計画 ・求められる河川技術、河川技術者とは ・超過洪水対策について	
	小計			5.5		
専門科目	4	河川法制の概要	水管理・国土保全局 水政課 企画専門官	2.0	・河川法制定の経緯 ・河川法の概要 ・河川関係法令について	
	5	水利使用の実務	水管理・国土保全局 水政課 水利調整室 課長補佐	1.5	・水利の歴史、制度 ・水利権について ・水利使用許可判断基準	
	6	河川利用の実務	水管理・国土保全局 水政課 河川利用企画調整官	1.5	・河川敷占用許可基準 ・河川空間のオープン化について ・不法占用、迷惑行為等について	
	7	河川管理責任と訴訟事例	水管理・国土保全局 水政課 法務調査官	2.0	・河川管理の訴訟事例 ・国家賠償法 ・行政事件訴訟と行政不服審査	
	8	水防法について	水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室 課長補佐	1.5	・水防法の概要について ・浸水想定区域図及び洪水ハザードマップ ・自衛水防について	
	9	河川管理施設と河道の維持管理の実務	水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 企画専門官	1.5	・河川砂防技術基準(維持管理編)の解説と運用 ・河川維持管理計画について ・許可工作物について	
	10	堤防構造について	水管理・国土保全局 治水課 企画専門官	1.5	・河川堤防の特性と構造について ・堤防破壊、耐震性能照査と液状化対策 ・河川堤防の点検と強化	
	11	ダム管理について	水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室 課長補佐	1.5	・ダム管理における現状と課題 ・総合土砂管理について ・洪水調整とダムの防災操作について	
	12	民事及び刑事訴訟実務	升田純法律事務所代表 弁護士	2.5	・民事及び刑事訴訟の流れ ・民事及び刑事訴訟の実務と基礎 ・判決の予測と要因について	
	13	河川管理施設等の点検評価について	公益財団法人 河川財団 研究フェロー	1.5	・河川管理施設の点検手法 ・河川管理施設点検のポイント ・河川管理施設等の評価要領	
	14	河川環境の捉え方	国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員	2.5	・生態系の基礎知識 ・河川にこける人為的インパクトとレスポンス ・多自然川づくりと河道特性	
	15	河川生態系と河川環境の創出(仮称)	岐阜経済大学 経済学部 教授	1.5	・河川生態系と魚類 ・河川環境の創出	
	16	河川情報に関する新たな取組と課題	水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 課長補佐	1.5	・水文観測の役割、課題 ・新しい観測技術と今後の取り組み ・河川情報の配信における課題	
	17	河川利用及び河川管理の取り組み	関東地方整備局 江戸川河川事務所 占用調整課長	1.5	・河川利用及び河川管理の取り組み ・不法行為等の現状 ・都市河川における放置船舶対策	
	18	河川管理者としての災害対応	北海道開発局 建設部 河川管理課 水災害予報専門官	1.5	・平成28年8月北海道豪雨災害の対応 ・河川管理の取り組み ・河川管理の現状、課題	
	19	河川管理施設等構造令の解説と運用	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川構造物管理研究官	1.5	・河川管理施設構造令の運用と解説 ・適用に関する問題点と課題 ・制定及び改訂の経緯	
	小計			27.0		
	関連科目	20	これからの水辺利用と広報戦略	(株)SCOP 代表取締役社長	1.5	・水辺リングプロジェクト ・水辺空間の活かし方 ・水辺の未来創造力
		21	渉外交渉のあり方	警察庁刑事局 組織犯罪対策部 暴力団対策課 警部	1.5	・暴力団組織の現況 ・行政対象暴力対策について ・不平等要求行為対策について
22		河川行政とNPO	NPO法人全国水環境交流会 代表理事	1.5	・市民団体の活動状況と形成までの経緯 ・地域、行政との協働について ・河川協力団体制度について	
小計			4.5			

[敬称略]

区分号	教 科 目	講 師 の 所 属 ・ 氏 名	時 間	備 考
課 題 研 究	23 課題研究[班別討議]	建設部	13.0	・班別討議 ・発表資料作成、準備
	24 課題研究[ポスターセッション]	建設部	1.5	・課題テーマに対する発表と相互の意見交換
	25 課題研究[全体討議]	水管理・国土保全局 水政課 河川利用企画調整官 水管理・国土保全局 水政課 課長補佐 水管理・国土保全局 水政課 水利調整室 課長補佐 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 企画専門官	4.0	・占用許可、河川利用、維持管理、自然環境、不法行為、水利権等の課題について班別に討議し、全体発表、全体討議を行い問題解決能力の向上を図る。
	小 計		18.5	
現 場 実 習	26 現場実習	荒川上流河川事務所管内	7.0	・都市河川における河川管理の現状 ・施設管理、河道管理の現状 ・河川管理施設等の点検・評価実習
	小 計		7.0	
そ の 他	27 入校式・その他	教務課・建設部	2.0	・ガイダンス、オリエンテーション
	小 計		2.0	
合 計			64.5	